

糖尿病予防講演会

「糖尿病の正しい知識」を知り 糖尿病の発症と重症化の予防を図ります

とき 11月13日(木)午後1時30分～2時30分(受け付けは午後1時から)

ところ 市民会館

内容 「ごはん、睡眠、ちょいちょい運動：2型糖尿病予防策の真髄。元気づくりの3つの柱を整えよう！」を演題とした講演

講師 大石恵さん(管理栄養士・公認スポーツ栄養士)

定員 150人(先着順)

申込期限 11月7日(金)

申込み・問合せ先 電話で市保健センター(☎1321)へ

ホームページID 11667



男性のHPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン接種の費用助成

費用助成の対象に9価ワクチンを追加します

HPVワクチンは、HPVの感染拡大防止と、HPVが原因となる一部のがんの予防に有効です。

9価ワクチンは、市が従来から助成をしている4価ワクチンよりも新しいワクチンで、多くの種類のウイルスへの感染予防が期待できます。

対象者 小学6年生から高校1年生までに相当する年齢の男性

対象ワクチン HPV4価ワクチン・HPV9価ワクチン

自己負担金 無料

接種回数 ▷9価ワクチンを15歳未満で接種開始した人＝2回 ▷4価ワクチンまたは9価ワクチンの1回目を15歳以上で接種した人＝3回

※助成は、1回ごとに適用されるため、全ての接種で助成を希望する場合は、計画的に接種してください。対象期間内に接種を完了しなかった場合、残りの接種分は全額自己負担になります

接種方法 接種協力医療機関を予約の上、接種日当日に、本人確認書類(健康保険証など)、母子健康手帳、記入済みの予診票を持参して接種を受ける

※接種前に予診票の事前申請が必要です。保護者の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなど)と子どもの母子健康手帳を市保健センター窓口へ持参してください



▲実施医療機関はこちら

その他 接種時は、保護者の同伴が必要です。保護者が同伴できない場合は、保護者の署名が必要です。実施医療機関は、ホームページに掲載します

ホームページID 11223

問合せ先 市保健センター(☎1321)



ヒトパピローマウイルス(HPV)とは

主に性行為によって感染するウイルスで、性行為を経験する年頃になれば、男女を問わず多くの人がHPVに感染します。ウイルスの遺伝子型は200種類以上あり、ほとんどは問題を起こしませんが、一部は子宮頸がんのほか、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの疾患の原因になることが分かっています。

男性がHPVワクチンを接種することで、これらの疾患を予防できるだけでなく、パートナーへの感染を防ぎ、子宮頸がんの予防にもつながります。